

各 位

会 社 名 株式会社フレンドリー  
 代 表 者 名 代表取締役社長 八木 徹  
 (コード番号 8209 東証スタンダード)  
 問合せ先責任者 取締役営業本部長 小松 大介  
 (TEL 072-874-2747)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

2025年11月10日に公表した2026年3月期通期（累計）業績予想の修正をいたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

## 1. 2026年3月期 通期業績予想数値の修正

(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,308	百万円 55	百万円 65	百万円 50	円 銭 3.51
今回修正予想(B)	2,195	△17	△7	△22	△21.82
増減額 (B-A)	△112	△72	△72	△72	
増減率 (%)	△4.9	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	2,103	△39	△28	△85	△43.95

## 2. 修正の理由

売上高につきましては、昨年より導入いたしました「中華そば」カテゴリー、とりわけ「冷やし中華そば」や秋に投入した「担担麺」「味噌中華そば」等の高単価商品の販売が好調に推移しましたが、想定よりも客数が減少したことにより、2,195百万円と前回発表予想を下回る見込みであります。

営業利益及び経常利益並びに当期純利益は、以下の要因により前回発表予想を下回る見込みであります。

まず原価面では、円安進行に伴う輸入食材価格の高止まりに加え、国内産米の取引価格が過去最高水準で推移しております。当社では、「うどん」「丼」「中華そば」のカテゴリー・ミックスの最適化等の対策を講じましたが、主食であるコメ価格の急激な上昇影響を吸収しきれず、売上原価率が当初計画を超過いたしました。

加えて、最低賃金の改定に伴うパート・アルバイト時給の大幅な上昇により、人件費も計画を上回って推移しております。

これらのコスト増加に対し、これまで適時価格改定を実施してまいりましたが、昨今の消費者の節約志向の高まりや、既存店客数が前年を下回っている状況を鑑み、当初計画通りの価格転嫁を実施することが困難となりました。その結果、コスト上昇分を利益で吸収せざるを得ない状況となっております。

(注) 本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上